

春樹 ○ 仮面春樹 ○ ○
 春い後リシ「春をお運同
 樹る部ク」樹つり転・
 、°座ラト苦、け、席車
 ゆ席イベしゆて運と内
 つにニルそつい転助、
 くりはントうくる席手回
 、「グをにり。の席想
 としたスを外」とエの
 し倒しあ体アエ
 ッした、あ勢バア
 動作と。背、をツバ
 香典で、もう起クッ
 たしにク
 がれしはは
 ア置に、春作
 を開かれも樹動
 けてられ、
 れ、

る車木森、
 にに、
 は車回、
 木が想、
 が衝、
 め突、
 りし、
 込て、
 ん、
 で故、
 お障、
 りし、
 、
 煙い、
 がる、
 出、
 て、
 い

春近仮のの仮、
 た土た仮る火火い高村
 樹づ面男男面なち屋ち面男のをるく、
 、いの、たのんの春、を性前囲、
 手て男やち男だ様樹声つ、にむ、
 が行、めに性よ子、をけ鎖はよ、
 震く村ろ取、こを2合たに、う、
 え。の！りかれ伺6わ男繫上に、
 男押な：つ、せ性が半村、
 たやさり、て、てのれ身人、
 いる。ちめえ暴、い草歌後て裸た、
 にてられ、るむをろ座でち、
 立くれて、ら歌でつ仮、
 たれるい、につはて面集、
 さる。隱て、いをま、
 れ、が、れい村る着つ、
 、周、てるの、けて、
 火に、村。老人、てい、
 、周、村人、人、いる。

る集沢山村、
 °落山の、
 のの中夜、
 中家に、
 央屋あ、
 でがる、
 はあ、
 、る大、
 大がき、
 き、め、
 な人の、
 火氣集、
 がは落、
 焚無、
 かい、
 れ、
 て、
 い

春樹

ス春見あ信ジ音「過春し」数で春スをスがて春
マ樹えたさではもし樹かも回「樹マ入ムるい樹
ホ「なりれ」聞して「ししのお」ホれ!。る、
をスいはな事こもい画「も呼かスは」ズ首。目
持マ。かい故えしる面音しひんマ「スにをゆを
つホ「な」つな!。をが「出」ホ1マは抑つ開
たを「り辺たい」見聞しにの8ホ動えくけ
ま持「暗り」。るこ音電口時をかりる
まつ歩くをと電「の話ツ3出せゆ」とと
いたま「見送話後をク分すなつ起、
り周渡ろを「かをを」。いくき外
てまりすう切り、通い「かをを」。り上は
いる歩の状況「電話」。ボとが少し
るいと「するメツ」。ケ首り、暗
く行がよ「時間だけ」。ツをト回立く
遠く。「だけが経」。琳にすちなつ
く。「がる」。手が上つ

春
樹

春空に春同
樹で仰樹・
、は向、車
目、け倒の
を鳥でれ横
閉が寝込
じ旋転む回
る回びよ想
。し、う
て空に
いを出
る見て
。る。
。る。
。土の上

し春ドド春
、樹アア樹はが樹
外、はを、あ開
に少少何助、く全
倒しし度手開
れ開づか席け
るいつ蹴のよ
よた開る背
うドい。も
にアてい
るの隙く。
間から体を出

ア春る窓よ
。ガう
ラスは割れ
とすが、開か
ており、ドアが歪
んでい
。ドアを押すと、少しだけド

春 男 仮
樹 性 面

仮 男 男 仮
面 性 性 面

○

を待て村移来春の村る村春村石 『春ののつ春仮の春の背春のす春のい仮て春村 春かの
見機行人動る樹方人場人樹人はあ樹声男て樹面男樹声後樹声る樹男る面い樹・ 樹な方
てしくたしの へた所た た仮つ い の に と と のる 中 りに
いて ちてを草近ちがち体ち面 石助助る氣男誰辺助は驚助 仮や 男 し央 火高光
るい 行見のづ はのを のちをけけ が かりけ誰いけ背面め 、 や空 のくが
る 春くて隙い火つ方低春男 よ火なて つか をてもてて後ので ど がき 方 見
村 樹 、間てのき向く樹のつのさく けな助見あい後あか男く どん 地n へ火え
人 が 体かくつりかすの近 方いれ ばりけ渡げなろげら性れ どん だへ 歩がる
た 元 をらるい見らるいく へ ! 右火てすないをな 、を ! 状夜 上
ち い 低村 たえは るに 投 、 手のくがさ 見さ 見 態 てが
、 いた く人 木な 、 方落 げ に近れ い るい て俺 行つ
春 場所 したを い暗 向ち 、 大く ! 誰 きま も いは
樹 が たち 持 くて をる 。 めで め に死 。
元 へ まが つて 春 見 石て をい 。
いた 向 ま近 て 、 樹 見る 。 石て をい 握る 。
方 か づ へい とて 樹 の い

春修 春修 春 仮春 ○
 樹斗 樹斗 樹 面樹
 春 行で じ 修 3 仮の 春同
 樹どか 事やお兄斗修 面男大樹・
 うれ氣故な前貴、斗の 丈、森
 修なてをつい、! 春? の男あ夫仮へ
 斗つ: 失たの親 樹 顔、りで面夜
 をて本つけか父 に が仮がすの
 抱る當てど? と 抱 見面とか男
 きんにた 交 き えをう? の
 しだ助ら俺 通 つ る取 手
 めよか は 事 き うる
 る つあ助 故 と 紐を外す。
 。 たいか で 、
 ! つつ 死く、
 らたん くなつたん
 にん 連だ れよ て。
 て。

春仮 春 男 男
 樹面 樹 性 性
 げ春 の仮 村取春の春仮に振る春の行春て仮
 て樹助男面嘘入り樹声樹面なり。樹声こ樹い面
 い、け性のだ、押、にのい返右、う、るの
 く仮に 男ろ氣さ石助は男。る手氣助と体。男
 。面来誰性? 絶えをけ氣性仮がに付けす勢 性
 のまで、すて持なづも面、はけなるを
 男しす春 るいつさい、の隠、ばさと低
 性たか樹 。るていて取男れ大仮い、くしたま
 を。? に 村無、いり性らき面
 連行、気 人意 な押はれめの
 れき 付 いさ直その男
 てま 頭に えぐう石の
 、し を立 て近なを方
 小よ 叩ち いく場持へ
 走う く上 いるに所つ歩
 り、 がり、 村いがてい
 で逃 も、くるい